

10月28日(土)・大会1日目 9:50~11:10 (会場:F402) (80分)

●セッション【2】

テーマ:アントレプレナーシップと組織

「ウェルビーイング駆動型アントレプレナーシップ」

◎横山恵子(関西大学商学部教授)

福嶋路(東北大学大学院経済学研究科教授)

長山宗広(駒澤大学経済学部教授)

秋庭太(龍谷大学経営学部准教授)

山田仁一郎(京都大学経営管理大学院教授)

金間大介(金沢大学融合研究域融合科学系教授)

◎セッション・リーダー

[概要]

日本政府は、2022 年を「スタートアップ創出元年」と位置づけ、イノベーションの鍵となるスタートアップを 5 年で 10 倍に増やすことを宣言し、その動きと連携するように、日本のあらゆる団体・組織が、スタートアップ支援へより一層の舵を切った。このような一種のトップダウンの号令型のスタートアップ支援とその効果は、今後検証されながら推進されていくことになるが、それとは別に、これまでも一部の地域・コミュニティ・組織レベルで、新規事業が輩出されてきた。そしてそこでは、経済合理性よりもウェルビーイングを意思決定の基軸としたアントレプレナーシップが見受けられることがある。今回、そのようなボトム・ローカルから自然発生的に、ウェルビーイングに駆動されたアントレプレナーシップに着目する。

このセッションでは、4 組のパネリストが、地域コミュニティや組織から「経済合理性だけでは説明できない」「ウェルビーイング駆動型」アントレプレナーシップ現象に関する話題提供を行う。それに基づき、パネリスト同士およびフロアを交えた意見交換を行い、ウェルビーイング駆動型アントレプレナーシップの特徴や影響について皆で論考する。

[参加者へのメッセージ]

皆さんと対話しながら、「ウェルビーイング駆動型アントレプレナーシップの特徴やその影響」に迫ることができればと考えています。冒頭 50 分ほどの話題提供の後の残り 30 分は、パネリスト間およびフロアとの対話の時間にしたいと考えています。気軽にご参加ください。